

令和5年度 学校関係者評価

春日部市立粕壁小学校

<今年度の教育活動について（アンケート結果から）>

- ・旗当番の保護者への挨拶ができていないという保護者の御意見があるが、子供にとって挨拶のタイミングが難しいこともあるのではないかと。また、旗当番の保護者がどのように接しているかによって、子供達の挨拶も変わるのではないかと。校内で挨拶ができていないのは、学校が安心できる場所だからではないかと。
- ・職員アンケートで「体力の向上を目指した指導を積極的に行っている」の「どちらかといえばそう思わない」が多いのは、先生方が謙遜しているからではないかと。また、コロナの影響もあり、子供達の体力が全体的に低下していることにより、十分に指導できているという実感が下がっているのではないかと。
- ・保護者の「ランドセルの中身が重い」という御意見について、あまり持ち帰りすぎると家庭学習ができなくなるのではないかと。タブレットを活用する方法もある。ランドセルが大きくなっているため、ロッカーに入らなくなって置き場所が足りなくなるのは何とかしてあげたい。
- ・生活習慣の改善については、学校だけでできることではないので、家庭と協力し合って方策を考えていく必要がある。

<次年度の教育活動について>

- ・登校時刻を時50分に変更することに伴い、PTAの旗当番の検討を進めている。町会長などに協力を依頼し、地域の方々のご協力いただくことも進めている。
- ・登校時刻については、かつては小学校は7時50分から8時の学校が多かったがいつの間にか早くなっていったので、元の時間に戻すという認識である。
- ・朝清掃になっているが、給食の後の方が清潔になるのではないかと。
→朝清掃により生活のリズムをつくることできるという実践例が多い。給食後や帰りの会の時にごみを拾ったり、落とした時にすぐに拾ったりするなど、その場できれいにする指導をしたい。
- ・朝のE-タイムがなくなるのはさみしい。
→標準の時間数の英語は実施する。高学年は2時間ALTがいて授業を受けられるようになるメリットもある。
- ・藤まつりの参加見送りはさみしい。
→金管バンドクラブやバトンダンスクラブの希望者は減ってきており、人員確保が難しい。人員確保のため第1希望でない児童も在籍しているが、毎日の昼休みの練習に対し、モチベーションを保てない児童もいる。

- ・藤まつりは4月の忙しいときに指導する必要がある大変さもある。地域にかかわる方法はいろいろあるため、藤まつりにこだわらずに他の方法で地域とのかかわりの場をつくっていてもよいのではないか。
- ・先生方の昼休みの休憩時間を確保するか、他の時間で休憩できるようにしてあげたい。
- ・2学期の懇談会については、実施していない学校は増えているが、本校では代替として個別の面談を実施することでよいのではないか。

※「→」は学校の説明